

第十六回「海の祭典」

青森で和船競漕  
開催される

「海の祭典」は、昭和六十一年の第一回開催以来「海の旬間」を中心に全国の主要港湾都市において毎年開催され、今年度は青森県において開催された。

この「海の祭典」関連行事の一つとして、去る七月二十二日(日)、青森市青い海公園前で県内の漁協十七チームが参加し、熱戦のレースが繰り広げられた。

和船は、昭和三〇年代ごろまで県内でコンブやエゴノリ漁などに広く使われていた木製の小船で、みちのく北方漁船博物館が収蔵していたものを活用した。

参加者は二〇代〜五〇代までと四人一チームとなり、独特のこぎ方を用する「車がい」で和船を走らせたが、大半が「車がい」の未経験者とあつて船をうまく操れずに観客からは拍手や笑いが巻き起こっていた。

関係者からは、これを機会に来年以降も是非青森の伝統文化として残して行きたいと話していた。

〈レース結果は次のとおり〉

優勝	小泊漁協チーム
準優勝	佐井村漁協チーム
第3位	三厩村漁協チーム
第4位	野辺地町漁協チーム
第5位	脇野沢村漁協チーム
第6位	大畑町漁協チーム



和船(車がい)競漕風景